

1. 2021 年度報告

(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)

－ 2022 年度を見据えた各学部・研究科における入試制度改革の実施状況 －

① 広報・学生募集活動推進

コロナ感染予防対策として一昨年度から実施したオンライン形式の学校説明会は継続しつつ、学校説明会及びイベントの動画コンテンツを HP にアップロードするなど、入試関連コンテンツを充実させた。一方で、対面企画に人気が集まり、製図・模型製作体験や授業のある平日夜間に行うナイトオープンキャンパスなどを充実させ、コロナ下においても志願者数の拡大を実現した。高卒生への広報活動は、資料送付による高校側ニーズの整理を行い有力校の学校訪問を実施、ニーズの掘り起こしに繋げることができた。

② 入試制度改革

入試については時期及び実施回数を見直し、これまで年度末に 3 回実施していたものを秋 1 回、年度末 2 回に変更することを実施した。当初危惧された入試の入学辞退者も少なく、昨年を上回る入学者が確保できた。今後は今年度入学者の分析を行い、多様化する志願者ニーズの把握の精度を上げていき、更なる入試制度改革につなげていきたい。

③ ブランディング

早稲田大学の専門学校であることによる、他の専門学校にはないブランド力をより強化すべく、著名建築家等による建築講演会（今年度は対面による企画を実現）や学外展示を積極的に実施、広報戦略とも連携させて芸術学校の認知度向上に貢献した。

(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)

－ グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み状況 －

① カリキュラム「ASSEMBLE」の安定運用とオンラインメリットの追求

カリキュラムポリシーである「ASSEMBLE（アセンブル＝多様な領域を集合して組み立てる）」の実践として、9 つの教育テーマに付帯する技術テーマを連動させたカリキュラムを展開している。このカリキュラムは安定期に入り、学生の多彩な進路に成果が現れつつある。本年度は、オンライン授業のメリットを最大限活かし、対面授業とオンライン授業を併用するカリキュラムとした。特に 1・2 年生は週 1 回程度のオンライン授業を確保し、社会人学生に利益がある授業運用方法を実現できた。

(5) その他

－ (1) ～ (4) に該当しない、各学術院・学院・学校独自の戦略・プロジェクト等 －

① 将来計画の新たな検討

2019 年度に中長期計画検討上の 3 つの重要項目、「入試広報の充実（人材確保）」「高度なカリキュラム実現」「国際化・グローバル化」を策定し、計画の推進を図ってきた。理工学術院創造理工学部建築学科との連携も重要であるため、中長期計画の検討に際しては理工学術院執行部も含めた WG 体制を構築した。

② 教育内容拡充のための創造理工学部建築学科・同研究科建築学専攻との連携強化

学部との授業相互提供制度および大学院への推薦制度の活用を継続、本年度は創造理工学部建築学研究科へ 2 名進学した。年度初めに大学院等進学希望者面談（1 から 3 学年で合計 15 名の進学希望者）を行い、情

報提供強化を積極的に実践した。また、他専門学校にはないこれらのメリットを生かす機会を増やすため、このような学院との連携に新たな制度（編入制度等）を加えるべく検討を開始し出来た。

2. 2022 年度計画

(1) 入試関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 1 関連)

ー 2023 年度を見据えた各学部・研究科における入試制度改革の実施計画 ー

① 広報・学生募集活動推進

昨年は、オンライン形式の学校説明会を継続しつつ、対面企画の拡充や HP における入試関連コンテンツの充実を図った。本年は昨年の実績を分析・フィードバックを行い更なる改善を行う。一方、ダブルスクール生の獲得は伸び悩んでおり、学内（他学部での個別説明会の拡充）や学外（有力高校の訪問等）を推進するとともに、ダブルスクール生のニーズの把握と対応策の検討を行う。

② 入試制度改革

昨年度入学者の分析を行い、多様化する志願者ニーズの把握の精度を上げていき、更なる入試制度改革を検討・実施する。

③ ブランディングの強化

早稲田大学の専門学校であることによる、他の専門学校にはないブランド力をより強化すべく、建築関連団体等との連携体制を維持しつつ、著名建築家等による建築講演会（今年度は対面による企画を実現）や学外展示を積極的に実施し、広報戦略とも連携させ、芸術学校の認知度向上を推進する。

(2) 教育関連 (Waseda Vision 150 核心戦略 2、3、4 関連)

ー グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み計画 ー

① カリキュラム「ASSEMBLE」の新たな展開と着実な運用

カリキュラムポリシーである「ASSEMBLE（アセンブル＝多様な領域を集合して組み立てる）」の新たな展開として掲げた「テクノロジーデザインストラテジー＝芸術・技術・理論の融合」に基づき、9つの教育テーマに付帯する技術テーマを連動させたカリキュラムを維持しつつ、新たな時代のニーズに沿ったコンテンツ（環境・IT分野）の拡充を図る。また、運営面では対面授業中心の戻しつつ、社会人学生に利益あるオンライン授業の有り方やオンデマンドコンテンツの利用方法を検討していく。

(5) その他

ー (1) ～ (4) に該当しない、各学術院・学院・学校独自の戦略・プロジェクト等 ー

① 将来計画の新たな検討

2019 年度に中長期計画検討上の 3 つの重要項目、「入試広報の充実（人材確保）」「高度なカリキュラム実現」「国際化・グローバル化」を策定し、計画の推進を図ってきた。昨年、理工学術院創造理工学部建築学科との連携も重要であるため、中長期計画の検討に際しては理工学術院執行部も含めた WG 体制を構築した。本年度は具体的将来計画の立案を行う予定である。

② 教育内容の拡充のための創造理工学部建築学科・同研究科建築学専攻との連携強化

学部との授業相互提供制度および大学院への推薦制度の活用を継続、情報提供強化を積極的に行う。また、他専門学校にはないこれらのメリットを生かす機会を増やすため、このような学術院との連携に新たな制度（編入制度等）を加えるべく検討を継続していく。

以 上